

会 議 記 録

会議名 予算特別委員会総務分科会

開催日 令和3年3月8日（月） 開会 午後 1時15分

閉会 午後 2時02分

出席者 委 員 分科会長 中 島 克 訓

大 浦 兼 政 青 木 一 男 入 野 登志子

関 口 孫一郎 梅 澤 米 満 福 田 裕 司

天 谷 浩 明

議 長 小 堀 良 江

傍 聴 者 森 戸 雅 孝 小 平 啓 佑 浅 野 貴 之

川 上 均 古 沢 ちい子 大 谷 好 一

坂 東 一 敏 小久保 かおる 氏 家 晃

千 葉 正 弘 永 田 武 志 福 富 善 明

針 谷 正 夫 大阿久 岩 人

事務局職員 事務局長 神 永 和 俊 議事課長 佐 山 美 枝

副 主 幹 岩 崎 和 隆 主 査 藤 澤 恭 之

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

総 合 政 策 部 長	小 保 方	昭 洋
総 務 部 長	永 島	勝
危 機 管 理 監	福 田	栄 治
財 務 部 長	大 野	和 久
会 計 管 理 者	大 木	多 津 子
消 防 長	小 島	徹
監査委員事務局長併 選挙管理委員会事務局長	天 海	俊 充
総 合 政 策 部 副 部 長 兼 総 合 政 策 課 長	増 山	昌 章
総務部副部長兼総務課長	瀬 下	昌 宏
財 務 部 副 部 長 兼 行 財 政 改 革 推 進 課 長	寺 内	秀 行
秘 書 課 長	癸 生 川	亘
シティプロモーション課長	石 川	い づ み
蔵 の 街 課 長	清 水	孝 之
渡 良 瀬 遊 水 地 課 長	田 中	正 和
ス ポ ー ツ 連 携 室 長	茂 呂	一 則
地 域 づ くり 推 進 課 長	横 倉	延 男
大 平 地 域 づ くり 推 進 課 長	中 嶋	孝
藤 岡 地 域 づ くり 推 進 課 長	寺 崎	公 夫
都 賀 地 域 づ くり 推 進 課 長	川 又	俊 行
西 方 地 域 づ くり 推 進 課 長	狐 塚	光 紀
岩 舟 地 域 づ くり 推 進 課 長	山 野 井	広 実
職 員 課 長	小 川	稔
情 報 シ ス テ ム 課 長	須 見	誠
契 約 検 査 課 長	木 村	浩 二
危 機 管 理 課 長	間 中	正 幸
管 財 課 長	岩 崎	充
財 政 課 長	小 野 寺	正 明
市 民 税 課 長	茂 木	隆
資 産 税 課 長	白 井	一 之
収 税 課 長	奈 良 部	和 紀

会 計 課 長	飯 島 正 則
消 防 総 務 課 長	鈴 木 宏 之
消 防 総 務 課 主 幹	中 村 聡
予 防 課 長	栗 田 誠
警 防 課 長	中 山 全 良
通 信 指 令 課 長	小 高 照 明
副 署 長 兼 消 防 第 1 課 長	本 名 義 人
副 署 長 兼 消 防 第 2 課 長	小 川 信 幸
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 次 長	石 川 徳 和
監 査 委 員 事 務 局 次 長	瀬 下 佳 子
議 事 課 長	佐 山 美 枝

令和3年第2回栃木市議会定例会
予算特別委員会総務分科会議事日程

令和3年3月8日 総務常任委員会終了後 全員協議会室
日程第1 議案第3号 令和3年度栃木市一般会計予算（所管関係部分）

◎開会及び開議の宣告

○分科会長（中島克訓君） ただいまの出席委員は8名で、定足数に達しております。

ただいまから予算特別委員会総務分科会を開会いたします。

（午後 1時15分）

◎諸報告

○分科会長（中島克訓君） 当分科会に送付された案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

◎議事日程の報告

○分科会長（中島克訓君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎議案第3号の上程、質疑

○分科会長（中島克訓君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、議案第3号 令和3年度栃木市一般会計予算の所管関係部分を議題といたします。

なお、本予算に対する説明は2月26日に開催された予算特別委員会全体会及び各分科会説明表の送付をもって済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については3月24日水曜日に開催される全体会において実施しますので、よろしくお願いいたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案につきましては、各部所管ごとに歳入歳出等を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

なお、執行部の答弁に際しましては、担当課長のみならず質疑の内容によりましては担当部長等にご答弁いただくこともありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

まず、総合政策部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の総合政策部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

質疑は。

福田委員。

○委員（福田裕司君） よろしく申し上げます。ページで112ページ、総務費寄附金でふるさと応援

寄附金というのが前年度と比較しまして3億3,550万円強を見込んでおりまして、5億円ちょっとということで、これ歳入増に関しましてはいい心がけだとは思いますが、随分多く見込んでいるのですけれども、その根拠はどのようなところにおありでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 増山総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（増山昌章君） お答えを申し上げます。

本年度の実績に基づきまして予算案として計上させていただいたわけですが、9月補正の際に今年度も5億円ということで補正増をさせていただいておりまして、現状今3月もう頭ではございますけれども、3月末までに約目標どおりぐらいはいくのではないかとということで予定しております。5億円いくかどうかという現状でございますが、そういったところから、ちょっと前の段階ではございますけれども、5億円は来年度も見込めるということで、多少ちょっと今年1年の実績ですけれども、少し強気なところもありますけれども、それを踏まえて来年度も5億円を目指すということで予算として計上させていただきました。

以上であります。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 根拠については理解しました。

それで、例えばどういう事業的にしたからその5億円が確保できたのかというところをちょっと教えていただければと思います。

○分科会長（中島克訓君） 増山総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（増山昌章君） お答えを申し上げます。

ふるさと納税につきましては、本市の事業を支援していただくと、本市の市政運営なり取組を支援していただくということが本旨でございますが、実際には返礼品に地元産品、魅力ある特産品をそろえて全国から寄附を募ると、それにかかっているというふうに言っても過言ではないかと思えます。

そうした中で、今年度ポータルサイトといいまして、インターネットで受け付けるサイトを1つ増設をいたしました。

それから、返礼品をご提案いただいている、名のり出ている各企業さんのところを個別にも担当職員回りまして、何とか魅力あるところ、特に品物を提供していただきたいとか、PRに心がけていただきたいというようなところをお話しいたしまして、市として、繰り返しになりますけれども、ポータルサイトを増設したり、適宜ポータルサイトの企業と連携してPRに力を入れたというところでございます。

以上であります。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 関連して、ここの歳入に対しての歳出ということで、145ページがふるさと

応援寄附事業費ということで計上しております、今、増山副部長のお話で、返礼品で、もうこれで2億円なのです。それはそれとしまして、あと今ポータルサイトということで、これも前年度よりは多く見積もる、5,300万円強ですか。でも、何か本当にそれで5億円を達成できるのかなというのが最初ございまして、でも今聞いたから、そこはちょっと払拭しました。頑張っていたきたいなというふうに思います。

それと、いいですか。

○分科会長（中島克訓君） はい、どうぞ。

○委員（福田裕司君） やっぱこれも関連するのですが、116ページ、ここは繰入金、17番のふるさと応援基金繰入金ということで、ここも大幅にアップしているのかな。内容的には、このふるさと応援基金、今の事業に対してここにその収入分を繰り入れるのだと思うのですが、その根拠と使用目的というのですか、その辺ちょっとお示しいただければと思います。

○分科会長（中島克訓君） 増山総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（増山昌章君） 117ページのふるさと応援基金繰入金につきましては、市長おまかせコースでございまして、その市長おまかせコースというふうにしていただいた寄附金から、約半分をここに積み立てるということを予定しているものであります。

現時点では、市の様々な分野の施策について充当するということを考えておりますが、毎年なのですけれども、先ほど補正予算ご審議いただきましたけれども、3月にそれぞれのところをどういうふうに充当するかというのは再度調整はいたしますが、ここにつきましては、歳入ですので、基金から繰り入れる分を大体1億8,000円というふうに見込んでいます。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） ちょっと前後して申し訳ないです。本当はさっきのところで聞くべきだったのですけれども、先ほどのご答弁の中にふるさと応援寄附事業の中で本市の市内の特産品の贈呈とか、本市の魅力を強くPRするよと、例えば特産品なんかで何か考えているところなんて、決まったところはあるのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 増山総合政策課長。

○総合政策部副部長兼総合政策課長（増山昌章君） 今、返礼品が現状500ほどございまして、そこを継続してPRしていくということで、ただ特に力を入れていきたいのは、やはり今年人気の商品については、さらに力を入れていきたいと思っておりますし、各企業さん、それから農産物の生産者の方も含めて、ふるさと納税の返礼品としてご協力いただけるように、さらに幅広く声をかけていきたいというふうに思っております。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

入野委員。

○委員（入野登志子君） ありがとうございます。

ページが歳入のところで123ページで、防災ラジオ販売収入等とありますけれども、去年も同じ金額で計上されているのですけれども、この辺はもうほぼ皆さんがお買い求めになられたというこ
とで、同じような金額で計上されているのでしょうか、お伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 執行部の答弁を……

○委員（入野登志子君） 123ページ、防災ラジオ販売収入等。

○分科会長（中島克訓君） 違うかね。

○委員（入野登志子君） 違う。

○分科会長（中島克訓君） これは所管外ですので、すみません。

○委員（入野登志子君） ごめんなさい。申し訳なかったです。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

青木委員。

○委員（青木一男君） これ59ページから61ページにまたがっているのですが、多分これ去年、質問
があったかどうかちょっと忘れてしまったのですが、確認したいのですけれども、職員駐車場使用
料、大平、藤岡、都賀、西方という形になっていますが、岩舟総合支所の分が入っていないと思
うのですが、この辺はどのように理解したらよろしいのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 山野井岩舟地域づくり推進課長。

○岩舟地域づくり推進課長（山野井広実君） それでは、お答え申し上げます。

岩舟の場合なのですけれども、お客様が訪れる駐車場が狭いものですから、職員については周
りの民間の方から各自が駐車場として土地を借りまして、月々お支払いして、そこに置いている状態
でございます。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） ということは、職員が個人で支払っているということによろしいですか。

○分科会長（中島克訓君） 山野井岩舟地域づくり推進課長。

○岩舟地域づくり推進課長（山野井広実君） そのとおりでございます。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） これ付随してお聞きしたいのですが、この台数、大平25台、藤岡27台、都賀
20台、西方26台となっているのですが、令和3年度というのは令和2年度と比べて、すみません、
私比較していなかったものですから、その状況をちょっと分かれば教えていただきたいと思
います。令和2年度との比較です。

○分科会長（中島克訓君） 執行部の答弁を求めます。

中嶋大平地域づくり推進課長。

○大平地域づくり推進課長（中嶋 孝君） 私どものところは、ほぼ同数の人数での計上はして
おります。25台の。

○分科会長（中島克訓君） もう一度、すみませんが、お願いします。

○大平地域づくり推進課長（中嶋 孝君） 同数の25台で計上しておりました。

○分科会長（中島克訓君） 寺崎藤岡地域づくり推進課長。

○藤岡地域づくり推進課長（寺崎公夫君） 申し上げます。

藤岡の場合、令和2年度が28台分、令和3年度が27台分の計上となっています。これは、前の年度の4月1日現在の人数で計上しております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 川又都賀地域づくり推進課長。

○都賀地域づくり推進課長（川又俊行君） 都賀につきましては、今回組織の見直しに関わりまして、若干台数を減らしてあります。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 狐塚西方地域づくり推進課長。

○西方地域づくり推進課長（狐塚光紀君） 西方地域の場合は、令和2年度も同じ26台で計上しております。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） 今度大きな組織の見直しということで、総合支所の人数も変わるので、この辺も変わるのかなというふうに私は思ったのですが、その辺はいかがなのでしょう。

○分科会長（中島克訓君） 答弁願います。

中嶋大平地域づくり推進課長。

○大平地域づくり推進課長（中嶋 孝君） 確かに組織見直しに伴いまして支所の人数も減ると思います。ですから、その実績に基づいて歳入のほうを収入していきたいと思っております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） まず1つお伺いします。一般的に記載あるので、総務課の関係で、要は簡単に言うと会計年度任用職員について伺いたいのですけれども、ページ数でいうと137ページ辺りとか139にはあるのですが、考え方なのですが、やっぱり合併してからスリム化を図るということの中で……

〔何事か呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） これは総務部所管ですので、今は総合政策部なので。

○委員（天谷浩明君） 失礼しました。

○分科会長（中島克訓君） ほかありませんか。

福田委員。

○委員（福田裕司君） 123ページになります。下から4番目です。北部健康福祉センター電気料と

いうことで、1,570万円強の予算額となっておりますが、令和2年度についてはコロナ禍の中でやっぱり利用なんかも少なかったよとさっきお話聞いているのですけれども、この令和3年度の予算についてもその辺の影響も考慮してこの予算額にしたのかということ、適正なのかということを確認したいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 狐塚西方地域づくり推進課長。

○西方地域づくり推進課長（狐塚光紀君） お答えいたします。

実際のところ、令和3年度の要求額と令和2年度の要求額は同じ金額で計上してあります。実際のところ、先ほどの予算の中で話ししましたけれども、令和2年度中は昨年5月1日にオープンした施設とはいいながら、同時に緊急事態宣言等々が始まりまして、ほぼ稼働していませんでした。それに伴った先ほどの補正予算ということになるわけですが、実際の稼働の100%のことが全く正直読めていません。この予算の計上の額につきましては、令和2年度の予算計上の際に市の他の類似施設の金額を参考に予算計上してあります。具体的に申し上げますと、月130万円という金額を計上させていただきまして、年間1,560万円という計上になるということになっております。正直実際の数字が全く今のところ読めずということもありまして、令和2年度、令和3年度同額で計上を行っておるといってございまして。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） では、ある程度根拠があってこの予算額にしたということで認識してよろしいですね。

○分科会長（中島克訓君） 狐塚西方地域づくり推進課長。

○西方地域づくり推進課長（狐塚光紀君） 市にある同じような施設、具体的に申し上げますとゆうゆうプラザだったと思うのですけれども、その施設の決算額が約130万円弱だったというふうに記憶しています。その数字を基に今回も計上させていただいたという数字になりますので、根拠はそこということになるかと思えます。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、総合政策部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少々お待ち願いたいと思います。

〔執行部退席〕

○分科会長（中島克訓君） 次に、総務部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の総務部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

それでは、質疑お願いいたします。

福田委員。

○委員（福田裕司君） 151ページ、これは主要事務事業にもものっていますR P A、A I 整備事業費と、ロボティック・プロセス・オートメーションというのかな。これ前年度の予算を見たらなかったの、新規事業かなと思いましたが、昨年9月に補正予算で予算化しているのですね、行く行くは。それはそれでいいのですけれども、この新年度の予算で初めて計上されておりますけれども、目的というのは、書かれているように職員の事務負担の軽減ということなのですが、この運用というのはいつ頃を目指すのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 須見情報システム課長。

○情報システム課長（須見 誠君） お答えいたします。

こちらにつきましては、本年度の補正予算で起こしておりますので、R P Aに関しましては11月頃入札を行いまして、1月から一部運用を開始している状況です。来年度予算につきましては、それを引き継ぐとともに、A I－O C Rを兼ねたものと併せまして、R P AとA I－O C Rを活用していきたいと考えております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） そうしますと、もう運用は一部始まっているよということで、併せて効果ですか、効果というのも当然決算ぐらいのときには見られるのかなというふうに予測するところなのですが、何か今の話ですと今年度、新年度に限らずまだ続きそうだということで、今後も予算計上するという感覚でよろしいのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 須見情報システム課長。

○情報システム課長（須見 誠君） こちらにつきましては、前年度の実証実験に基づいて今年度導入した結果なのでありますが、実際に費用対効果といいますとまだ始めたばかりですので、実際には収支を見るとまだ満足のいっている結果ではないと思います。また、改めてこれからR P Aとして設計していかないと。普通ですと、業者に頼んで設計を委託して、その委託料というのを払っているのですけれども、それはなしにはなるのですが、今度は自前でR P Aのロボットを動かすシナリオ、プログラム、これを作っていかなければならないということになりますので、私ら情報システムの職員のほうで進めていきたいとは考えておりますので、当分は続けていきたいと考えております。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ありますか。

入野委員。

○委員（入野登志子君） 123ページで、防災ラジオ販売収入等のところなのですけれども、令和2年度も同じ金額で計上をされているのですけれども、皆様ほぼお買い求めになられたかというその状況、P Rがされているのかどうかと併せてお伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 間中危機管理課長。

○危機管理課長（間中正幸君） お答えいたします。

予算につきましては、一般の方が30台、75歳以上の高齢者の世帯が70台ということで、合計100台を見込んでおります。こちらにつきましては、前年と同様の台数を見込んでおります。

販売実績につきましては、令和元年度が119台、令和2年度、本年度が今現在で161台の販売をしておりますので、100台はクリアできるのではないかとということで予算化させていただいております。

○分科会長（中島克訓君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） 大体予定どおりにいったとして、オーバーした場合でも、物としてみれば在庫として置いてあるということでよろしいですか。

○分科会長（中島克訓君） 間中危機管理課長。

○危機管理課長（間中正幸君） 在庫につきましては、数年前にまとめて何百台というふうには作製した物がありまして、そちらを今現在、在庫の続く限り販売しているというような状況でございます。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 今の防災ラジオなのですが、難視聴地域というか、ちょっと私個人的に聞きづらい、聞きにくい地区があるよというのを聞いているのですけれども、その辺の把握はされているのですか。

○分科会長（中島克訓君） 間中危機管理課長。

○危機管理課長（間中正幸君） コミュニティFMにつきましては、ギャップフィルターといいまして、難聴地域に対して4か所ほど補助電波が出るような施設を設けておりまして、基本的には当然聞きづらいとか聞きやすいというのはあるかと思っておりますけれども、難聴地域は解消されているというふうに理解しております。

○分科会長（中島克訓君） 福田委員。

○委員（福田裕司君） 私の認識と若干違うのですけれども、個人宅で、ちょっと今何町のどことは即答できないのですけれども、実際にそういう問合せを受けている実態があるのです。直接市のほうにも言ってあげたほうがいいのかなと思うのですけれども、実際あるようで、だから一例取りますと防災無線というか、あれが聞きにくい。でも、それをこの防災ラジオのほうでもカバーできるよということで、ラジオを使ってみてくださいということで言ったのですけれども、そのラジオも聞こえないのだということなのです。緊急事態宣言で市長のコメントをFMくらはらで流しましたよね。あれも何か聞きづらいというところがあるので、せっかくそのものを販売したり拡大するのも悪いことではないのですけれども、それが機能しないというのは意味ないことなので、その辺私ももう一回確認しますけれども、その辺も含めて検討していただければ、これ要望になりますけれども、よろしく願いしたいと思っております。

○分科会長（中島克訓君） では、要望でいいですね。

○委員（福田裕司君） はい。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ありませんか。

大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） ちょうど前段で要望書の件もありまして、非核平和事業費ということで137ページ、中学生の派遣の件なのですが、前年度といたしますか、コロナで派遣ができなかったということで、予定をするための予算なのは分かるのですが、どれぐらいの状況になったらこの派遣が可能になるのかというのは決めてあるのか。例えばですけれども、それをちょっとまずお聞かせください。

○分科会長（中島克訓君） 瀬下総務課長。

○総務部副部長兼総務課長（瀬下昌宏君） こういった条件が整えば派遣を実施するというような基準は今のところございませんけれども、派遣に関してはこの令和2年度ですけれども、開催地の広島市のほうでも規模を縮小して開催すると、自治体席は設けない、一般席も設けないというような状況がございましたので、広島市のほうの開催地の状況等も確認した上で最終的には判断する形になるかなというふうに考えております。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、総務部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席して結構です。ご苦労さまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少々お待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（中島克訓君） 次に、財務部所管の歳入歳出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の財務部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

それでは、質疑をお願いします。

入野委員。

○委員（入野登志子君） 財務部のところで、113ページの上のほうに不用品売払収入と書いてあるのですけれども、これは今回去年よりもちょっと予算大きいかなと思うのですけれども、予定されているものは何かあるのでしょうか、お伺いいたします。

○分科会長（中島克訓君） 岩崎管財課長。

○管財課長（岩崎 充君） こちらにつきましては、令和3年4月からの消防団の再編によりまして、余剰となる消防関係車両が大量に発生するというので、そちらをインターネットオークションで売却する予定のため、昨年度より増額となっております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） よろしいですか。

ほか質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、財務部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行いますので、少し待ってください。

〔執行部退席〕

○分科会長（中島克訓君） 次に、消防本部所管の歳入歳出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の消防本部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑ありませんでしょうか。

大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） お疲れさまでございます。

広瀬議員の一般質問にありまして、次の日の新聞にも載った何か県内初の資機材とありますが、あったと思うのですが、それどの部分になるのか、ちょっと説明をしていただきたいと思っています。

○分科会長（中島克訓君） 中山警防課長。

○警防課長（中山全良君） その資機材なのですけれども、商品名はフォグネイルという資機材になります。それで、来年度の車両に積載する形になっております。機能的には一般質問のときにもありましたように、住宅の中でフラッシュオーバーが発生するときに、それが外側から小さな指ぐらいの大きさの穴を開けて、その中に特殊ノズル、これを挿入しまして、中で噴霧状の、ミスト状の細かい水を出す装置なのですけれども、それで冷却効果と消火効果を高めるといふような資機材になっております。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 課長、今のはどの事業に入るのか、予算書のほうで説明願います。

○警防課長（中山全良君） すみません。これは、消防ポンプ自動車購入事業のほうになります。

○分科会長（中島克訓君） ページは何ページになりますか。

○警防課長（中山全良君） 295ページです。すみません。

○分科会長（中島克訓君） 295ページの。

○警防課長（中山全良君） 消防ポンプ自動車購入事業費のほうになります。

〔「全体ですよね」と呼ぶ者あり〕

○警防課長（中山全良君） それは、車両全体と資機材と、それで全体的な総額の金額になっており

ます。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 大浦副分科会長。

○副分科会長（大浦兼政君） 初の試みというか機能ということで、それだけの予算ですとどれぐらいなものなのか知っておきたいのですが、お答えできますか。

○分科会長（中島克訓君） 中山警防課長。

○警防課長（中山全良君） 今ありました特殊ノズルのほうですけれども、特殊ノズルの金額のほうは約60万円ぐらいです。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） ほかはよろしいですか。

青木委員。

○委員（青木一男君） 289ページなのですが、これは感染症対策資機材購入事業費、これ主要事務事業の新規なものかと思えます。その事業内容が何点か専門的にあるものですから、このD I Fトランスバッグフィルターとか感染防止衣、この4項目ですか、ちょっと具体的に説明いただきたいと思えます。

○分科会長（中島克訓君） 本名消防第1課長。

○副署長兼消防第1課長（本名義人君） お答え申し上げます。

本事業につきましては、まずD I Fトランスバッグのフィルターというものがございまして、D I Fバッグといいますと、簡単に説明させていただきますと、そのバッグの中に感染した方に入ってください、そのバッグの中を陰圧にするために中の空気を抜くのですが、送排気するものがありまして、その中に入れるフィルターということで、ウイルスが混じった空気を外に抜くときにそのフィルターを通すことによって、ウイルスを取り除いて出すというためにそのフィルターがついております。そのフィルターがまずはそのD I Fトランスバッグのフィルターということになっております。

続きまして、その次、感染防止衣上下セットでございましてけれども、これにつきましては救急隊のみならず、支援隊とか指揮隊というものも災害の場へ行きます。そういった方が感染を防ぐために上下着用するものでございます。

そのほか、感染防護対策キットについてでございますけれども、これはつなぎ型の防護服とゴーグル、それとマスク、手袋とシューズカバー等がセットになったものが入っている、そのキットでございまして。

その次、エマージェンシーシールドというもの、救急車内のストレッチャー、患者さんを乗せるベッドのようなものがあるのですが、そういった周りを養生して隔離するような形にしております。そういったことで、一緒に乗っている救急隊の二次感染を防いだりするものでございます。

そういったものが含まれております。

以上でございます。

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ありませんか。

青木委員。

○委員（青木一男君） 消防団機械器具置場整備事業費、これが何ページになるのだけかな。

○分科会長（中島克訓君） 青木さん、何ページですか。

○委員（青木一男君） 9款1項3目だから……

〔「293」と呼ぶ者あり〕

○委員（青木一男君） 293で、これ各分団編成によって3か所の解体工事があるということなのですが、来年度令和3年度はこの事業というか、その後というのをまた考えられるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） お答え申し上げます。

次年度から消防団が再編されるに当たりまして、市内の消防団車両が入る機械器具置場につきましては、13か所廃止になる予定でございます。このことによりまして、次年度以降でその13か所を順次解体していく予定でございます。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） まず、この3か所というのは、多分優先順位等をつけたとは思っていますが、こういった要因でその13か所の中の3か所になったのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） お答え申し上げます。

基本的には賃借料が発生している器具置場を優先して解体していく方向でございます。

また、次年度計画している器具置場の中には、地主さんから撤去を急いでほしいというような要望も含まれていることも付け加えさせていただきます。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） 若干ちょっと違ったあれになるかもしれないのですが、同じ主要事務事業の中で、参考として令和2年度執行状況で都賀町家中の防火水槽解体撤去工事費とあります。あと、大塚町ですか、1基あります。これ答えていただけますか。これは、要は昔造った鉄筋コンクリートですか、その防火水槽の撤去という形でよろしいのでしょうか。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） お答え申し上げます。

防火水槽につきましては、今委員がおっしゃったような鉄筋コンクリートで囲ってある地中に埋

められている防火水槽が主なものになります。これらの解体につきましては、基本的には消防水利として消防署や消防団で火災のときに使用しているわけですが、やはりこちらも地主さんの要望等を踏まえまして、致し方なく撤去をするもの、あるいは県道の拡幅工事のために撤去するものと、そういった利用で順次進めていく予定です。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） すみません。ちょっと予算と若干かけ離れてしまうかもしれないのですが、私どもの地元ではやっぱりそういったコンクリートで、もうここは明らかに使っていないなど、消防団も調査していないなどというところも見受けられるのですが、その辺の管理というか、市の考え方というのはいかがなのでしょう。

○分科会長（中島克訓君） 中村消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（中村 聡君） 先ほど申しあげましたように、消防水利につきましては、火災が発生したときになくてはならない大事な水源だと考えております。それにつきましては、常に使うものではないのですけれども、毎月消防署のほうで点検等を行っておりまして、維持管理のほうもしっかり実施しているところでございます。

○分科会長（中島克訓君） 青木委員。

○委員（青木一男君） くだいようなのですが、私が見た限りでは、年に1回ですか、何か点検した跡もないようなところもあるものですから、今言われましたようにしっかりと定期的な点検、そしてそういった火災時にすぐに役立てるような管理の方法をお願いしたいと思います。

以上です。

○分科会長（中島克訓君） 要望でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、消防本部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様には退席していただいて結構ですので、ご苦労さまでございました。ここで執行部の入替えを行いますので、少々お待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（中島克訓君） 次に、会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の会計、議会、選管、監査を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑をよろしくお願ひします。

質疑はありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（中島克訓君） ないようですので、会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局所管の質疑を終了いたします。

◎閉会の宣告

○分科会長（中島克訓君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会長報告の作成につきましては、正副分科会長にご一任願います。

終わりました執行部の皆様、退席して結構ですので、ご苦労さまでございました。

〔執行部退席〕

○分科会長（中島克訓君） ご苦労さまでございました。

また、繰り返しになりますが、3月24日水曜日午前10時から予算特別委員会全体会において分科会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしく願いいたします。

それでは、これをもちまして予算特別委員会総務分科会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでございました。

（午後 2時02分）